

〔発行者〕

就労サポートセンターはくちょう

平内町大字福館字雷電林1番地50

TEL 017(762)7803

FAX 017(755)5602

<http://www.syusapo-hakuchou.com/>

〔発行日〕

令和2年12月23日〔第11号〕



# はくちょう 通信 Vol.11

《事業所理念》地域の中で、自分らしく、生き生きとした生活を続けられるサポートをします

## 事業所での安全対策

お住いの地域のハザードマップをご存じでしょうか。ハザードマップは各自自治体において公開されており、ホームページや地域防災計画でご覧になることが可能となっております。

当事業所は小湊ハクチョウおよびその渡来地として特別天然記念物に指定されている浅所海岸、そこに注がれる汐立川に囲まれており、地震・津波、風水害への対応策を定め、通所される利用者様の安全確保のために取り組んでいます。

通所されている方へも、非常災害時における避難方法、場所を把握していただくため、定期的に災害時の避難場所の確認を行い、災害への備えを働き掛けております。

グループホーム事業においても、避難訓練や避難場所確認訓練（風水害対策訓練）を通じて、安全に生活を続けられるよう取り組んでおります。

今後は風雪害が発生する時季となりましたので、利用者様、ご家族のご協力を得ながら、安全に通所・帰宅できる体制を強化してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



## グループホーム食事会

今年度はコロナ対策のため、恒例行事となっている旅行が中止となり、その代わりとして食事会を企画しました。飲食店での会食も検討しましたが新年会もあることと不要不急の外出も控えた経緯もあり、普段食べられない皆さんの大好きな専門店のピザやケンタッキーフライドチキン等を用意しました。さらに場所も第一スワンハイムを提供していただき、職員、世話人、利用者の方皆さん一堂に会し美味しく楽しい時間を過ごしました。

コロナ対策で密にならないように食席や換気も配慮し少し遠い会食でしたが、普段ない機会となり笑顔があふれていました。

今年是我慢の一年となりそうですが、来年は是非全員揃って旅行に行きたいものです。



みんなストレス  
発散できればいいな...



## 土日開所日の実施

### ■かき氷コンテスト

暑い夏を吹き飛ばすべく、利用者でかき氷づくりを行いました。色とりどりのシロップで色付けし、思い思いにトッピングしたかき氷でコンテストを行いました、それぞれ賞を頂いたところです。



### 【八月一日(土)実施】



### ■アメリカンドックを手作りしてみよう

普段なかなか食べられないアメリカンドックを手作りしてみました。職員の手を借りながら焼いた皮でウィンナーを包み、皆さん笑顔で頬張っていました。

### 【九月二十六日(土)実施】



### ■海岸清掃&BBQ

白鳥が本格的に飛来する時期を前に、毎年恒例の海岸清掃作業へ参加しました。浅所海岸から松島へかけて利用者皆さんでゴミ拾いを行い環境美化に努めました。その後は事業所でのバーベキューでお腹を満たしました。

### 【十月十日(土)実施】



### ■勤労感謝のカードを作ろう

普段伝えられない「ありがとう」の気持ちをカードで作りました。カラフルにデコレーションしたカードは利用者皆さんで楽しく交換し合いました。

### 【十一月十四日(土)実施】



## 水産と観光を福祉でつなぐ、ほやランプ

今年度、事業所独自の製品づくりとして、青森県農林水産部水産振興課が企画する「あおもりの肴」事業のご理解とご協力を得て、「ほやランプ」の商品化に取り組みました。

青森市後潟漁協で水揚げされた、青森県産の特大ホヤの殻を加工し、暖かな光を放つランプに仕上げています。

青森県観光物産館アスパム一階、青森県地場セレクトで販売し、当初の販売予定数五十個を大きく上回る百二十個を販売させていただきました。

新聞、テレビ、雑誌等に取り上げられ、おかげをもちまして青森県の観光土産として期待される商品となりました。

今年度の原料ホヤの入荷は終了しましたが、来年度も五月頃からの出荷を目指し、水産と観光と福祉を繋ぐ灯りを少しでも多く送り出したいと考えておりますので、よろしくお願ひします。



## 編集後記

今年度はコロナ禍という未曾有の年となり、開所日や旅行などで外へ遊びに行けない日々が続いております。職員・利用者共々感染対策を強化し、また所内でも開所日が楽しめるよう工夫とアイデアで乗り切りたいと思っております。

(ウメ子)